

彙 報

○蓄妾始末

萬朝新聞社は近來社會德義の紊るゝこと甚だ酷
 だじきものあるを知り、天氣佳朗なる一休日
 を卜し探報の一大投網を提さけ枚を含み氣を呑
 んで竊に東京十五區に遊泳する蓄妾紳士の頭上よ
 り之を冠らしめ、一打して以て悉皆之を獲て將
 に遁逸するものなからしめんと期したりしなら
 ん、而かも其逸せしもの亦少なからずして罾中
 の漁獲は未だ以て其全豹を窺ふに足らざるもの
 わらん、然りとはいへども是れ尙ほ社會の一大警
 戒と爲すに足れる者あり、唯た夫れ犠牲か、あ
 な笑止自業自得!

統計的類別を示す前に分類の際思ひ到りしこと
 あるを以て先づ之を記す、均しく蓄妾紳士に
 就き

彙 報

最も罪重きもの 文明の教育を受け士人の上

位を占むる者

次なる者は 教導を任とする佛徒

次なる者は 士民の間に立ち具瞻師表となる

へき人々

次なる者は 敵なしといへども金錢の自由な

るに任せ私欲を逞しくし無智の

輩をして羨望せしむる者

恕すへき所以あるもの 維新前未だ蓄妾の醜

事たるに心付さりし時の老妾を

引續き差置く者は等は今俄かに

之を放逐すれば他方に道德上の

衝突を生すへければなり

箸にも棒にも掛らぬ者 破倫の者蓄妾遊蕩慣

習となり性となれる者は是れ恰も

累犯的罪人の如し

嗚呼是等人士中には我等が尊敬すべく親むべき

もの亦甚た少なからず、而して今や此醜塊の一

分子となれり痛哉哀哉莫くは省みよ!

彙 報

舊華族	三五
新華族	二七
官中顧問官錦雞間祇候	二
貴族院議員	八
貴族院多額納稅議員	六
代議士及前代議士	一九
府縣會議員	二
官吏	二七
在官不在官を問はず醫師	一八
辯護士	一四
公證人執達吏特許代言人	三
佛徒	三四
神官	二
工學士技師	五
書畫家	三
商人	一〇五
銀行員	二四
商工業會社員	三九

第壹號七〇

仲買 八
 金貸 一三
 飲食店宿屋 一八
 製造工業 一四
 地主事業主 一四
 遊藝人 七
 其他 三五
 外に外國人十八再出五人、四百九十七人掲載
 五百例中三例は闕漏したり
 而して右四百八十二人の妾の身分を分類すれば
 藝妓百七十三人娼妓酌婦二十二人待合料理店の
 女將女中二十九人三味線師匠四人縁族下女其の
 他二百六十四人又た男子四百八十二人中六十一
 人は妾一人の外尙他に婦人を愛するものなり、
 又た右の妾中子ある者四十六人、内藝者にして
 子あるものは僅かに七人のみ、妾出の子の數は
 〆て九十人なり、されば妾を置き子を得るか爲
 めなりと云ふは表面の言なるを知るべし。(閑々
 老翁)